

格子ボルツマン解析の大規模多孔質反応輸送場への適用

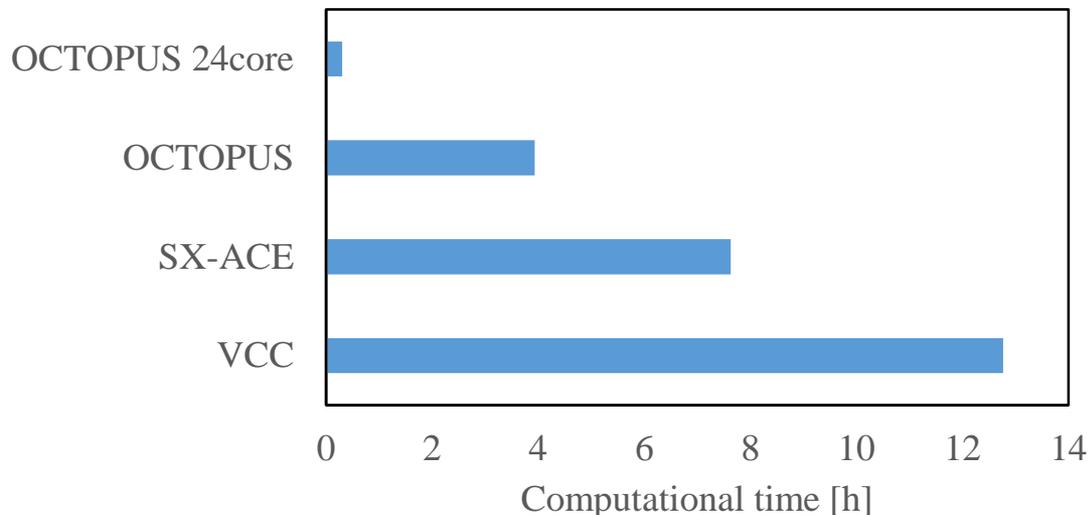
大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻
津島将司

目的：格子ボルツマン解析の大規模多孔質反応輸送場への適用可能性の検証

内容：大規模多孔質構造における反応輸送場を対象とした格子ボルツマン解析の適用可能性ならびに並列化による計算速度向上の評価と有効性の確認

結果：開発した格子ボルツマン解析コードが大規模計算機システムに適用可能であることを確認した。OpenMPによる並列化を実施し、24コア並列による計算時間短縮の効果について評価を行った。

利用した計算機：OCTOPUS（汎用CPUノード）、60ノード時間、10 GB、24並列



大規模計算機システムにおける開発コードの計算時間